

主な内容

- 3 キラリ天草人
- 4 「大丈夫でしょ」はケン！
～災害から身を守るには～
- 11 荒天時の道路通行止めにご注意ください
- 12 第54回牛深ハイヤ祭り
- 14 未来の天草のために今できること
- 16 “通いの場”で毎日楽しく健康に！
- 18 いきいき健康
- 19 暮らしの情報
- 27 図書館へ行こう！
- 28 元気☆あまくさっこ／〇〇な人み～つけた！
- 29 ハッピーバースデー
- 30 宝島のわだい
- 32 地域おこし協力隊／見どころ図鑑
- 33 市民のひろば
- 34 休日在宅病(医)院／献血日程
水道指定工事店
- 35 お出かけ情報
- 36 西の久保公園 天草花しょうぶ祭り
市民ふれあい座談会

天草市公式 SNS 広報紙(やさしい日本語版)

外国人をはじめ、障がい者や高齢者、子どもにも分かりやすい日本語でまとめた概要版 ホームページ

▷ LINE ▷ Facebook ▷ Instagram ▷ YouTube

SNS 一覧

問い合わせ先

本 庁 | 天草市役所 ☎23-1111
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支 所 | 牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111
御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111
栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111
五 和☎32-1111・天 草☎42-1111
河 浦☎76-1111

市長コラム

Mayor's Column



天草市合併20周年にあたり

今から20年前、2市8町が一つになるという歴史的な決断を下し、多くの困難を乗り越えてこられた関係者の皆さまのご努力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

20年前の私は、天草に帰郷して6年、家業を継いだばかりの時期でした。当時は自分のことだけで精いっぱいの日々。その私が、今こうして市長という大役を任せていただくとは想像もしていませんでした。市長として歩んだこの5年間、強く確信していることがあります。それは、天草は「お金では買えない宝」があふれ、人が幸せに生きられる、まさに「楽園」であるということ。AIの進化などにより世界が急激に変化している今こそ、人の心には「あそび(ゆとり)」が必要です。人々を包み込み、癒やす力を持つ天草は、これからますます世界から注目され、憧れられる存在となるでしょう。

市民の皆さま、天草にもっと自信を持ち、次の20年に向けて、希望に満ちた天草を共に創っていきましょう。



これまでのコラムは市ホームページ内「市長室」に掲載しています▲

人のうごき		4月末現在	
4月中の異動		※()内は前月比	
人 口	69,614人(77増)	出生	22人
男	33,074人(85増)	死亡	121人
女	36,540人(8減)	転入	350人
世帯数	35,656(150増)	転出	174人

今月の表紙

本町小学校で行われた製茶体験。全校児童で茶摘みを体験し、1枚1枚若葉を摘み取りました。午後からは、3・4年生が釜炒りと茶もみに挑戦。摘み取った葉を釜で炒り、むしろの上でもむ作業を繰り返します。乾燥が終わると早速試飲。自分たちで頑張って作ったお茶に満足そうでした。関連記事を市ホームページトップに掲載。



アウトドアの島に 天草を 日本一の

自宅ガレージで撮影

キラリ天草人

ソトアソビアマクサ

池田幸希さん



「天草には何もなかもん」。約10年前の授業中に耳にした児童のその一言が、現役小学校教員である池田幸希さんの活動の原点だった。

教室の窓の外には、息をのむほど美しい海と山が広がっているのに、子どもたちの心には届いていないのか。「この価値に気付いてほしい」「天草に誇りを持ってほしい」という切実な想いが、「天草を日本一のアウトドアの島に」という目標へとつながった。

SUPや登山、キャンプなど、あらゆるアウトドアを愛する池田さんは、現在「ソトアソビアマクサ」という名前前で精力的に活動している。アウトドアのイベント(SUPやキャンプ、テントサウナ等)の開催や講演会、みっばちラジオでの魅力発信、さらには、インスタグラムで天草のアウトドアスポットや自然の知識などのクイズを毎日投稿するなど、天草を好きになってもらうきっかけ作りに余念がない。

過去には、課外活動で教え子たちと天草最高峰の倉岳登山をしたり、ビーチで親子SUP体験を行ったりした。道徳の時間では、天草のアウトドアに

精通した人を講師に、自然の素晴らしさを伝える授業も行った。リアルな体験を通して自然と触れ合った子どもたちの瞳は、驚きと喜びで輝いていた。

「学校では1人1台タブレット端末が支給され、ネットで何でも調べられる時代だからこそ、実体験を通じた「感性(感じ方)」を育てたい」と池田さんは話す。物事の捉え方は「見方×感じ方」の総量で決まる。天草を多角的に見つめる「見方」を増やし、五感を働かせた「感じ方」を育てることが「天草が好き」へとつながる。五感をフルに使って自然と触れ合うアウトドアは、子どもたちの感性を磨き、教科書では出会えない豊かな発見をもたらす最高の学びの場となるそうだ。

「子どもたちには『天草いいやん!』『天草の自然ってすごい』『身の回りにって冒険だらけだ!』そんなことを思ってもらいたい」と話す池田さんは、目標達成のため共に知恵を絞り、力を貸してくれる仲間を募っている。足元にある宝物に気付き、心から「天草っていいな」と言える未来を目指し、これからも活動は続いていく。

- 1 アウトドアはコミュニケーションツール。SUPに乗って海から眺める朝日は格別
 - 2 講演会(天草の自然や五感の働かせ方など)を実施
- Instagram ▶

